



第56期決算資料

平成18年7月期



株式会社イチヤ
(9968)



■ 当社の概要 ■ (平成18年7月31日現在)

- 社名 株式会社イチヤ (ICHIYA CO.,LTD.)
- 創業 1947年(昭和22年)3月
- 設立 1952年(昭和27年)6月24日
- 本店 高知県高知市帯屋町一丁目10番18号
- 代表者 代表取締役社長 吉岡公和
- 資本金 9,223百万円
- 発行済株式の総数 1,149,760,884株
- 決算期 7月31日
- 店舗 9店舗(直営)
- 従業員 21名(パートタイマー除く)

■ グループ会社 ■ (平成18年7月31日現在)

会社名	出資比率 (%)	事業別	事業の内容	決算期
[連結子会社]				
(有)カーサ	100	その他事業	ペット霊園の経営	7月
(株)インターネットスーパー	100	その他事業	インターネットショッピングモールの運営(設立準備中)	7月
(株)VOUS	50	その他事業	美容サロンの経営	6月
(株)セレスト	50	ブライダル事業	レストランウェディングの企画・運営	7月
Champion Resources Limited (チャンピオンリソース(株))	80	その他事業	オーストラリアにおける鉱物踏査	6月
(株)葵投資パートナーズ匿名組合	100	投資事業	有価証券等の投資運用	7月
[持分法適用関連会社]				
(株)アール・ティー・シーマネージメント	34	—	不動産業	3月
(株)サハゾロト	50	—	ロシア連邦サハ共和国における金の採掘事業	12月

* Champion Resources Limited は、平成18年8月に Augur Resources Limited に社名変更しました。

■ 平成18年7月期連結決算の概要 ■

- 衣料事業は、新たな取り組みとして、既存店舗をリニューアルし、体の大きな方の紳士服専門店「キングセレクト」をオープンし、お客様から好評を頂いております。こうした取り組みにより、売上高は増収いたしましたが、利益を改善するまでには至らず、依然厳しい状況が続いております。
- 飲食事業は、季節メニューの開発や肉類のロス管理を行い集客向上ならびに粗利益の改善に努めた結果、売上高は順調に推移したものの食材価格の上昇を吸収するには至りませんでした。
- 不動産事業は、賃貸業務中心の活動であったため業績への貢献は少額でしたが、既に仕入れていた分譲用土地の造成工事が完成し、平成18年9月より本格販売を開始しております。
- 投資事業は、短期運用目的の有価証券投資により有価証券運用益を獲得することができました。
- ブライダル事業は、連結子会社となった(株)セレストがレストランウェディング事業を行っております。
- これらの結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高1,876百万円(前期比170%増)、経常損失151百万円(前連結会計年度経常損失497百万円)となりました。また、当連結会計年度より強制適用となる減損会計による減損損失865百万円計上したことにより、当期純損失1,088百万円(前連結会計年度純損失655百万円)となりました。

■ 平成18年7月期 連結貸借対照表 ■

(単位：千円)

科目	第54期 平成16年7月期	第55期 平成17年7月期	第56期 平成18年7月期	前年同期比	備考
資産の部					
流動資産	541, 271	1, 805, 458	7, 874, 030	436. 12%	現預金及び販売用不動産の増加
固定資産	2, 414, 735	2, 480, 263	2, 467, 138	99. 47%	
繰延資産	541	416	—	—	
資産合計	2, 956, 547	4, 286, 137	10, 341, 169	241. 27%	現預金及び販売用不動産の増加
負債の部					
流動負債	1, 182, 309	1, 052, 540	235, 400	22. 36%	短期借入金返済による減少
固定負債	416, 668	192, 260	32, 374	16. 83%	長期借入金返済による減少
負債の合計	1, 598, 977	1, 244, 800	267, 774	21. 51%	
少数株主持分	—	—	—	—	
資本の部					
資本合計	1, 357, 570	3, 041, 336	—	—	
負債、少数株主持分・資本合計	2, 956, 547	4, 286, 137	—	—	
純資産の部					
株主資本	—	—	10, 133, 058	—	新株予約権の権利行使に伴う資本金等増加
評価・換算差額等	—	—	△ 62, 712	—	
少数株主持分	—	—	3, 049	—	
純資産合計	—	—	10, 073, 395	—	
負債・純資産合計	—	—	10, 341, 169	—	

■ 平成18年7月期 連結損益計算書 ■

(単位：千円)

科目	第54期 平成16年7月期	第55期 平成17年7月期	第56期 平成18年7月期	前年同 期比	備考
売上	743,235	694,356	1,876,446	270.24%	投資・ブライダル事業の貢献
売上総利益	364,290	318,112	1,162,615	365.47%	投資事業による利益の貢献
販売費及び一般管理費	713,237	797,705	1,320,551	165.54%	株主数増加に伴う管理費用増加
営業利益	△ 348,946	△ 479,592	△ 157,936	—	
営業外収益	16,962	11,253	46,999	417.65%	貸付利息収入の増加
営業外費用	111,525	29,600	40,477	136.74%	
経常利益	△ 443,510	△ 497,939	△ 151,413	—	
特別利益	54,978	9,829	22,529	229.20%	
特別損失	290,498	431,104	971,031	225.24%	減損損失の計上（865百万円）
税金等調整前当期純利益	△ 679,030	△ 919,214	△ 1,099,916	—	
法人税等	6,080	5,887	12,499	212.31%	過年度法人税含む
少数株主持分損失	—	—	24,188	—	
当期純利益	△ 685,110	△ 925,101	△ 1,088,227	—	



■平成18年7月期 連結株主資本等変動計算書■

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株 主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成17年7月31日残高	5,133,047	1,276,620	△ 3,367,831	△ 499	3,041,336	—	—	—	—	3,041,336
連結会計年度中の変動額										
新株の発行 (新株予約権の行使)	4,090,000	4,090,000	—	—	8,180,000	—	—	—	—	8,180,000
資本準備金取崩額	—	△ 1,276,620	1,276,620	—	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	△ 1,088,227	—	△ 1,088,227	—	—	—	—	△ 1,088,227
自己株式の取得	—	—	—	△ 51	△ 51	—	—	—	—	△ 51
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額 (純額)	—	—	—	—	—	△ 61,066	△ 1,646	△ 62,712	3,049	△ 59,662
連結会計年度中の変動額合 計	4,090,000	2,813,380	188,392	△ 51	7,091,721	△ 61,066	△ 1,646	△ 62,712	3,049	7,032,058
平成18年7月31日残高	9,223,047	4,090,000	△ 3,179,438	△ 550	10,133,058	△ 61,066	△ 1,646	△ 62,712	3,049	10,073,395

■ 平成18年7月期連結キャッシュ・フローの状況 ■

(単位：千円)

	第54期 平成16年7月期	第55期 平成17年7月期	第56期 平成18年7月期	前年同期 比	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 486, 120	△ 460, 237	△ 1, 349, 751	—	△ 889, 514
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 42, 592	△ 496, 796	△ 1, 586, 547	—	△ 1, 089, 751
財務活動による キャッシュ・フロー	742, 174	1, 860, 795	7, 009, 278	376. 68%	5, 148, 483
現金及び現金同等物 の期末残高	349, 840	1, 253, 601	5, 326, 581	424. 90%	4, 072, 980

<主な増減要因>

□ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は1,349百万円(前年同期460百万円の使用)となりました。これは主に有価証券の購入による増加541百万円、販売用不動産の仕入による支出663百万円によるものであります。

□ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1,586百万円(前年同期496百万円の使用)となりました。これは主に貸付けによる支出924百万円、投資有価証券の取得による支出240百万円、関係会社株式の取得による支出214百万円によるもの によるものであります。

□ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は7,009百万円(前年同期1,860百万円の獲得)となりました。これは主に株式の発行による収入8,105百万円と短期借入金返済による支出741百万円、長期借入金返済による支出365百万円によるものであります。

■ 平成18年7月期 個別貸借対照表 ■

(単位：千円)

科目	第54期 平成16年7月期	第55期 平成17年7月期	第56期 平成18年7月期	前年同期比	備考
資産の部					
流動資産	534,067	1,775,098	5,989,537	337.42%	現預金及び販売用不動産の増加
固定資産	2,447,115	2,511,842	4,061,222	161.68%	
資産合計	2,981,183	4,286,940	10,050,759	234.45%	現預金及び販売用不動産の増加
負債の部					
流動負債	1,207,214	1,052,914	103,382	9.81%	短期借入金返済による減少
固定負債	416,668	192,260	32,170	16.73%	長期借入金返済による減少
負債の合計	1,623,882	1,245,174	135,552	10.88%	
資本の部					
資本合計	1,357,300	3,041,765	—	—	
負債・資本合計	2,981,183	4,286,940	—	—	
純資産の部					
株主資本	—	—	9,976,273	—	新株予約権の権利行使に伴う資本金等増加
評価・換算差額等	—	—	△ 61,066	—	
純資産合計	—	—	9,915,207	—	
負債・純資産合計	—	—	10,050,759	—	

■ 平成18年7月期 個別損益計算書 ■

(単位：千円)

科目	第54期 平成16年7月期	第55期 平成17年7月期	第56期 平成18年7月期	前 年 同期比	備考
売上高	743,139	694,356	1,407,834	202.75%	投資事業の貢献
売上総利益	364,190	318,112	1,004,686	315.82%	〃
販売費及び一般管理費	706,063	793,080	1,017,692	128.32%	株主数増加に伴う管理費用増加
営業利益	△ 341,872	△ 474,967	△ 13,005	—	
営業外収益	19,168	7,476	54,284	726.11%	貸付利息による収入増
営業外費用	111,525	30,172	7,984	26.46%	
経常利益	△ 434,229	△ 497,664	33,293	—	
特別利益	54,978	9,829	—	—	
特別損失	290,498	430,967	1,266,585	293.89%	減損損失等の計上
税引前当期純利益	△ 669,749	△ 918,802	△ 1,233,292	—	
法人税等	6,000	5,600	12,148	216.92%	
当期純利益	△ 675,749	△ 942,402	△ 1,245,441	—	

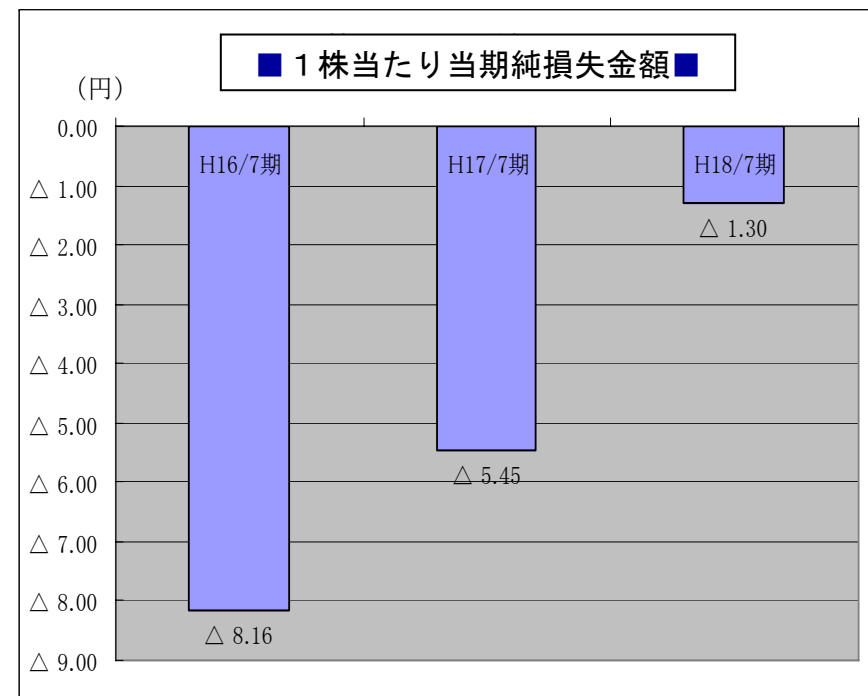
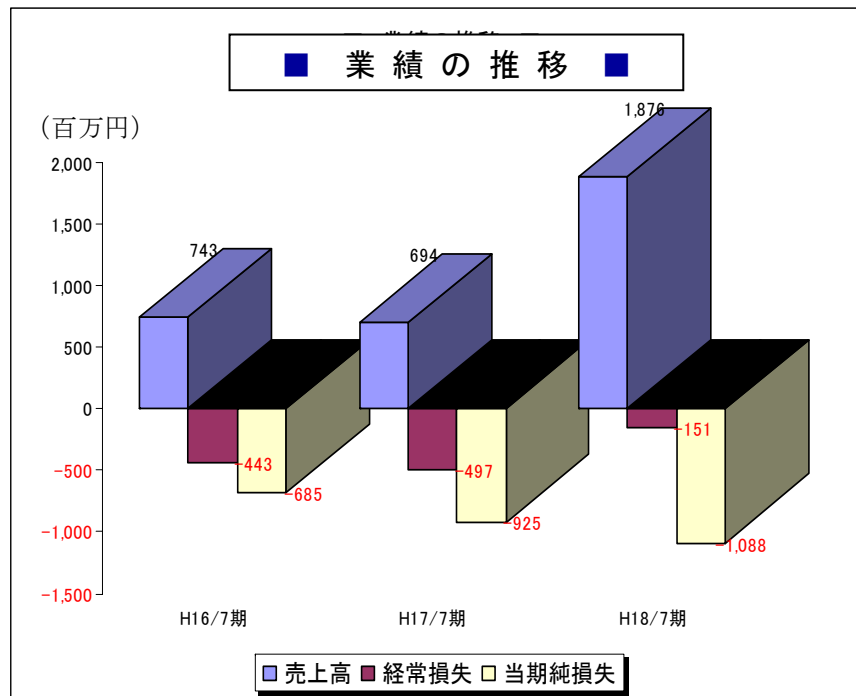


■平成18年7月期 株主資本等変動計算書■

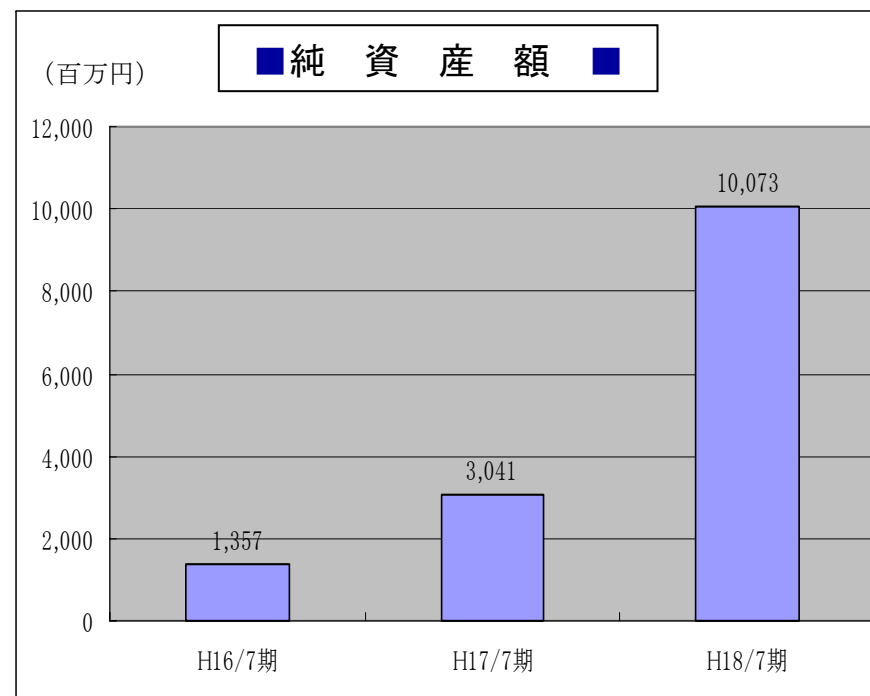
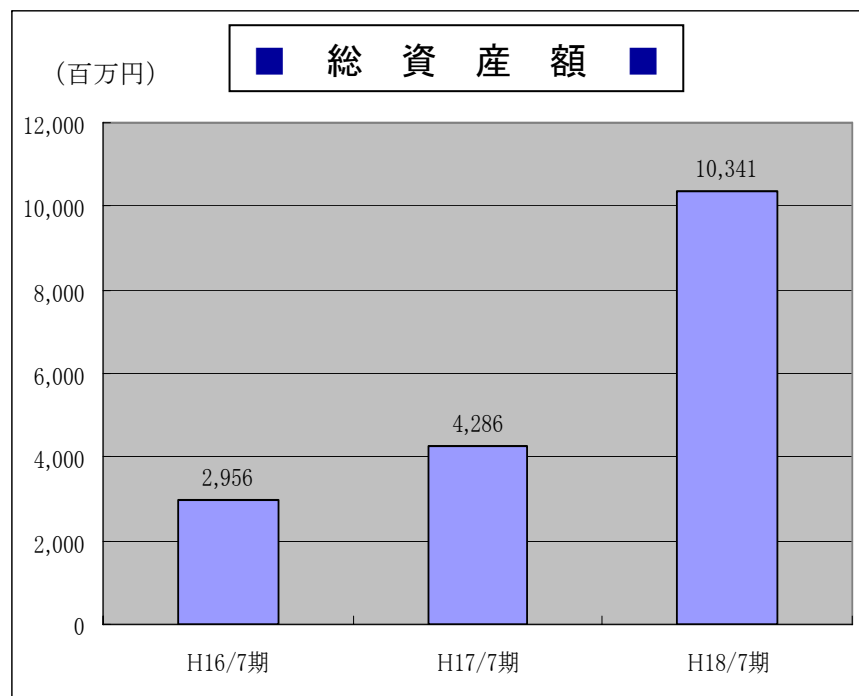
(単位：千円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	
平成17年7月31日残高	5,133,047	1,276,620	△ 3,367,402	△ 499	3,041,765	—	3,041,765
事業年度中の変動額							
新株の発行 (新株予約権の行使)	4,090,000	4,090,000	—	—	8,180,000	—	8,180,000
資本準備金取崩額	—	△ 1,276,620	1,276,620	—	—	—	—
当期純利益	—	—	△ 1,245,441	—	△ 1,245,441	—	△ 1,245,441
自己株式の取得	—	—	—	△ 51	△ 51	—	△ 51
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△ 61,066	△ 61,066
事業年度中の変動額合計	4,090,000	2,813,380	31,178	△ 51	6,934,507	△ 61,066	6,873,441
平成18年7月31日残高	9,223,047	4,090,000	△ 3,336,223	△ 550	9,976,273	△ 61,066	9,915,207

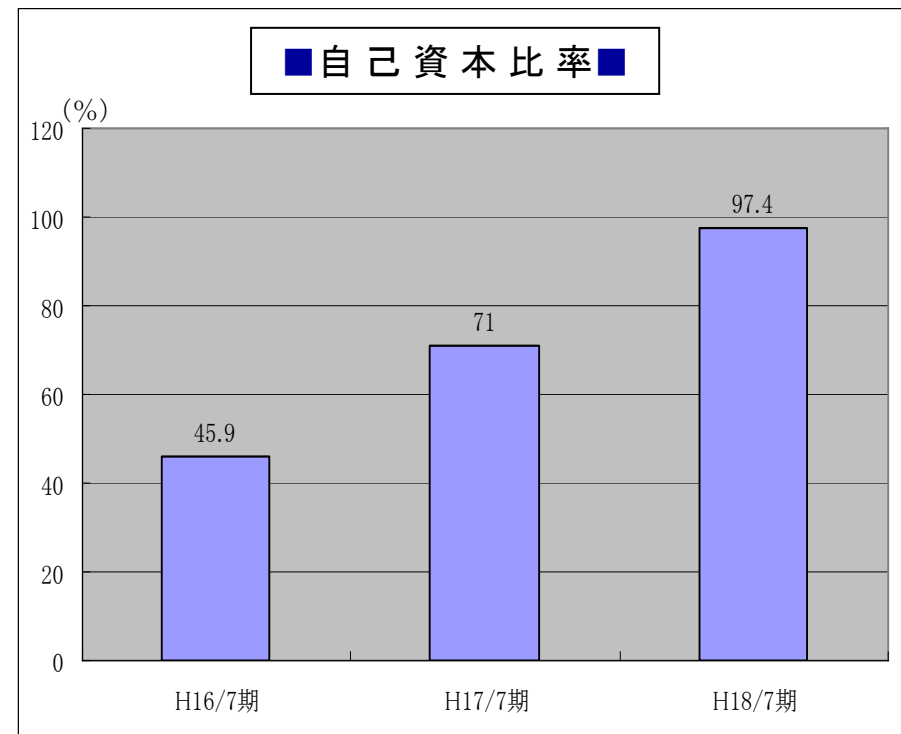
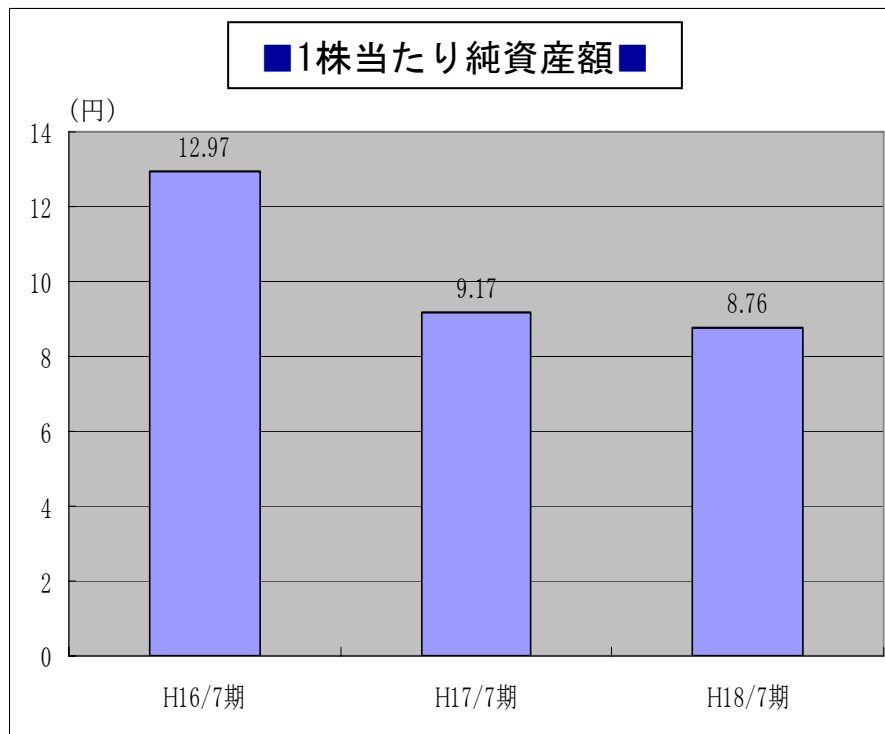
■ 連結財務情報 I ■



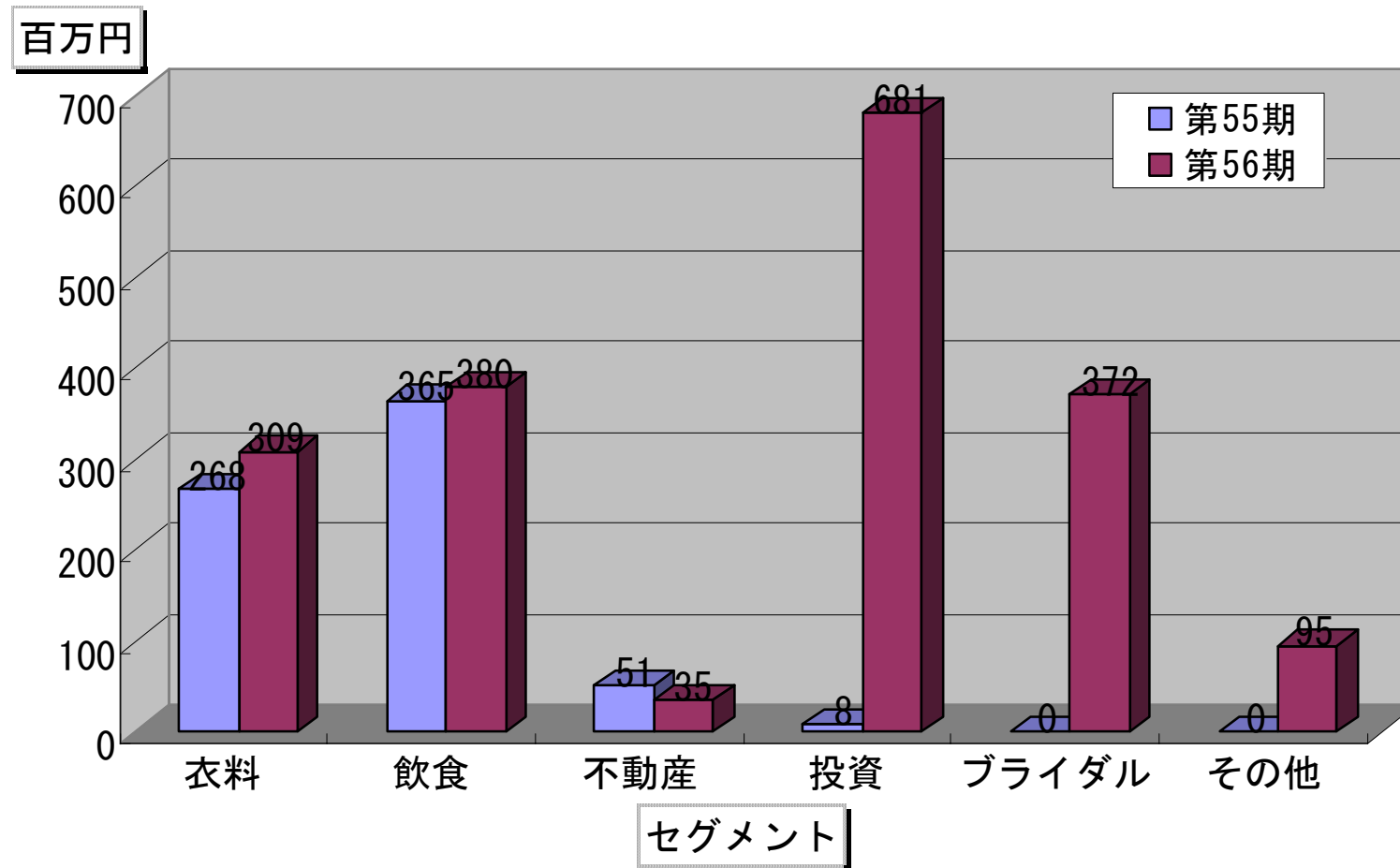
■ 連結財務情報Ⅱ ■



■ 連結財務情報Ⅲ ■



■ 事業別セグメント売上高前年対比 ■



- 投資事業は、上場株式等の有価証券投資を行っております。
- ブライダル事業は、(株)セレストが行っている事業です。
- その他事業の売上高は、(株)VOUSが運営している美容サロン及び(有)カーサの運営しているペット霊園事業によるものです。



■ その他当期のトピックス ■

- ◆ H17. 9 体の大きな方の紳士服専門店「キングセレクト」オープン。
- ◆ H17.10 (株)VOUSの株式取得による連結子会社化(株)セレストが孫会社となる)。
第55回定時株主総会重要決議事項。
 - ・「株式移転による完全親会社設立案」の取り下げ決議。
 - ・第4回新株予約権発行決議。
- ◆ H17.11 上海華源股份有限公司との業務提携解消を取締役会にて決議。
- ◆ H17.12 借入金を全額返済し無借金会社化。
- ◆ H18. 1 (株)サハゾロトの株式取得による持分法適用関連会社化。
- ◆ H18. 5 Champion Resources Limitedの株式取得による連結子会社化。
(H18.8 Augur Resources Limitedに社名変更。)
- ◆ H18. 7 不動産事業において第1期宅地分譲の事前予約開始。
(H18.9より本格販売スタート)

■ 平成19年7月期 連結業績予想 ■

(単位：千円)

科 目	H18/7期実績	H19/7期予想	前年比	増減額
売 上 高	1,876,446	1,600,000	85.3%	△ 276,446
営業利益	△ 157,936	△ 690,000	—	△ 532,064
経常利益	△ 151,413	△ 700,000	—	△ 548,587
当期純利益	△ 1,088,227	△ 740,000	—	348,227

<予想ポイント>

- 既存事業(衣料・飲食事業)は、業態変更等積極的な販売促進とロス管理により収益確保を図る。
- 不動産事業の宅地分譲販売はH18.9より本格販売を開始し早期完売を目指す。
- 投資事業は引き続き慎重に投資決定を行うが、減収の見込み。
- その他事業の(株)VOUSは、H18.6開店の青山店にて顧客拡大を目指す。
- その他、株主数増加にともなう管理費用が増加。



■ 今後の展望 ■

- 事業持株会社として業容を拡大し、安定的な収益を確保できる経営体制の構築。
- 既存事業（衣料・飲食）は、新たな業態開発を進める。
- 不動産事業は、現在進めている開発分譲を成功させ、安定的な収益を確保していく。
- 投資事業については、投資効率を考え、慎重な投資決定を行っていく。
- 新規事業案件は、早期に収益拡大が見込まれる案件を優先していく。

■ この資料に関する問い合わせ ■

〒780-0841 高知県高知市帯屋町1-10-18

株式会社 イチヤ

管理部 IR担当

TEL(088)823-2638

FAX(088)823-3265

E-mail ir-info@ichiya-group.co.jp

(注)この資料に記載された内容は、平成18年7月31日現在において当社が合理的と判断した計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される場合があります。また、業績等の見通しは様々な重要な要素により実際の業績と大きく異なることがありますので、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えられますようお願いいたします。

